

平成 31 年度使用高等学校  
(第 1 部)  
教科書編集趣意書  
公民 (現代社会) 編

目次

	ページ
017 教出 最新 現代社会 .....	1

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名
17 ―― 教 出	現社 304	<b>最新 現代社会</b> 代表著作者 河合 秀和

## 編集の基本方針

自分自身と現代社会についてのかかわりに着目しながら，自ら学べる楽しい教科書を目指しました。特に第2編では，青年期・倫理，政治・経済，国際社会の知識を深められるよう学習内容を十分吟味し，大学入試にも余裕をもって対応できる過不足のない質・量でまとめました。

1. 第1編は導入として，やさしい内容を見やすい写真・図版とともに構成しました。
2. 第2編はすべて見開き構成とし，図版・写真を多く見やすく取り入れるように工夫しました。
3. 第3編はまとめとして，それまでの学習の成果が確認できるようなテーマを選び，同時に学習スキルが高まるように配慮した内容で構成しました。
4. 授業を進めていく過程で，「良識ある公民として必要な能力」が無理なく身に付くよう，随所に工夫を凝らしました。また，受験に対応するため，全ページに写真や図版などを入れて，資料性を高めると同時に，重要な事例や語句の解説をもれなく盛り込みました。

## 編集上の特色

1. ページ構成.....基本的に見開き2ページで1項目＝1時間の授業を想定した紙面構成にしました。また，本文内容との関連から適切な図版・資料を精選し，程よい分量を確保しました。
2. 本文コラム欄とKey Word.....本文中に小コラムや原典資料，用語解説，人物紹介ためのコラム欄を設けました。また，左ページにKey Wordとして重要語句を三つまで明示しました。
3. 学習の幅が広がる側注を採用しています。本文中に出てくる用語の注記，背景説明などに多くの側注を配置しました。さらに，側注欄にもグラフ・表・写真を豊富に取り入れました。

## 特に留意した点

1. 教育基本法・学校教育法への対応  
主に教育基本法の第2条「教育の目標」，第3条「生涯学習の理念」，および，学校教育法の第51条「高等学校における教育の目標」などを踏まえて編集しました。
2. カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面  
色覚特性を踏まえた，判読しやすい配色や表示の工夫により，すべての生徒が学びやすい紙面づくりに配慮しています。
3. 環境にやさしい教科書  
教科書の印刷にはグリーン電力を使用し，地球環境への影響を少なくするよう配慮しています。また，再生紙と植物油インキを使用しています。

## 教科書の構成

教科書の単元配列	配当 時数	学習指導要 領との関連	教育基本法との関連や 構成の特色
第1編 現代に生きる	(3)		学習指導要領に示された三つの大項目の内容を効果的に学習できるように構成し、第1編を導入、第2編を本編、第3編をまとめとしました。
・生命 生命について考えよう	1	(1)	
・情報 情報化のもたらすもの	1		
・環境 「自然」と「人間」との対話	1		
第2編 私たちの生きる社会	(64)		第1編では、生命・情報・環境(教基法2条・4)を扱い、生徒の興味・関心が高まるように工夫しました。
第1章 青年期と現代社会	13	(2)ア	
第1節 現代の社会	5		
第2節 現代に生きる倫理	7		
第3節 日本の伝統文化と思想のあゆみ	1		
第2章 人権保障の原理と日本国憲法	7	(2)ウ	第2編は、青年期・倫理、法、政治、経済、国際社会の五章から構成しています。第1章では、身のまわりの諸課題や倫理(教基法2条・1)、日本の伝統・文化(教基法2条・5)を扱いました。第2章では、法に関する基本的な考え方(教基法2条・3)などについて扱いました。
第1節 個人の尊重と法の支配	2		
第2節 日本国憲法の人権保障	5		
第3章 民主政治と日本国憲法	11	(2)イ	第3章では、民主政治の仕組みや政治参加などについて扱いました。第4章では、現代経済の仕組みや政府の役割、労働環境をめぐる問題(教基法2条・2)などを扱いました。第5章では、国際社会にみる多様な諸課題について、政治・経済の諸課題(教基法2条・5)、地球的課題(教基法2条・4)に分類して扱いました。
第1節 民主政治とは	2		
第2節 日本国憲法の基本原理と平和主義	3		
第3節 日本国憲法と政治の仕組み	4		
第4節 民主政治と政治参加	2		
第4章 現代の経済社会と経済活動のあり方	17	(2)エ	第4章では、現代経済の仕組みや政府の役割、労働環境をめぐる問題(教基法2条・2)などを扱いました。第5章では、国際社会にみる多様な諸課題について、政治・経済の諸課題(教基法2条・5)、地球的課題(教基法2条・4)に分類して扱いました。
第1節 現代経済の仕組み	7		
第2節 政府の役割と財政・金融	2		
第3節 豊かな社会をみざして	8		
第5章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	16	(2)オ	第3編では、個人と社会、社会と社会、現在世代と将来世代についてそれぞれ学習項目を設け、「課題を探究する」視点から学習スキルを向上させる内容とリンクさせながら工夫して構成しました。
第1節 国際政治とその課題	5		
第2節 国際経済とその課題	5		
第3節 地球社会の課題	6		
第3編 共生社会をみざして	(3)		巻末には学習資料として法令を掲載しました。
・個人と社会	1	(3)	
1. 「社会起業」という生き方			
2. 人間らしく働くことができる社会へ			
・社会と社会	1		
「苦い」コーヒー 生産者と消費者を結ぶもの			
・現在世代と将来世代	1		
「世代間の対話」と持続可能な発展			

(総時間数；70時間)